

# 井原市民病院だより No.28

2014年10月発行



井原市の花 バンジー

日本医療機能評価機構 病院機能評価Ver.6.0認定

## 「まいづる連携」開設にあたって



井原市民病院院長  
山田 信行

住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らして行きたいと誰もが願っていますが、予想をはるかに超えて急速に進む少子高齢化社会の波に打たれて、社会保障の目的である「生活の継続の保障」すら危ぶまれる状況です。高齢者は医療面でも介護面でも、多岐にわたる問題を同時に抱えていることが多く、しかも、その程度も個々の人で様々です。特に重度の要介護者が住みなれた自宅で療養を続けるためには医療と介護の手厚い介入と密接な連携が欠かせません。訪問診療、専門医の往診、訪問看護、訪問介護、訪問リハビリテーション、口腔ケア、薬剤管理など、関係する多職種が共通の情報に基づいて同じ方針で協働して関わっていくことが必要です。しかしながら医療と介護の間に壁が存在することも事実であり、この壁を如何にして低くしていくかが問われています。壁を低くするための第一歩は「顔が見える関係づくり」であり、その活動を積み重ねることによって、医療側、介護側の相互理解が深まり、知識が増え、知恵が生まれ、在宅医療と介護の双方の質が高まっていくと考えられます。

そうした意味で、この「まいづる連携」の果たす役割は極めて重要です。今後、井原市の医療と介護が「弱い連携から、強い連携、さらに統合へ」と質を高めていって頂きたいと切に願っています。

### Mission (使命)

地域住民の尊厳を守り、命を守り、健康増進を支援する

### Vision (将来展望)

いつでも安心してかかれる、身近で愛される急性期病院

### 今年のスローガン

地域と密着した新しいステージの病院へ

Ibara City Hospital

## 井原市立井原市民病院

〒715-0019 岡山県井原市井原町1186番地  
TEL 0866-62-1133(代) FAX0866-62-1275(代)  
E-mail byoin@city.ibara.okayama.jp

### 診療科目

内科・循環器内科・外科・消化器外科・整形外科・眼科  
小児科・脳神経外科・放射線科・麻酔科・耳鼻咽喉科  
リハビリテーション科・婦人科・泌尿器科・皮膚科

発行責任者：山田 信行

## 「まいづる連携」から始める 井原市の地域連携活動

地域医療連携室長  
副看護部長

渡邊 栄子



2025年にいわゆる団塊の世代の方が75歳となり、高齢者人口がピークに達し超高齢化がさらに進んでいくなかで、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される街づくりを国が推奨し「地域包括ケ

アシステム」の実現が求められています。そのなかで最近、医療と介護の役割分担・連携の強化が言われるようになりました。

わが井原市では、現状として担当者間での連携のみに留まっており、他の地域では少しずつその活動が進んでいるなか、その整備すら見えない状況に危惧し、当院から何かアクションを起こし、少しでも地域に貢献できればと平成25年度より準備を開始し、今年6月から井原市地域包括支援センターの後押しを頂き、「まいづる連携」を立ち上げ、活動を開始しました。

活動目的は、地域の医療・介護従事者間で情報の共有、意見交換を行い、相互理解を深め、連携の強化を図り、地域医療の向上と地域住民が安心して暮らせる環境づくりを行うことです。在宅・施設へのシームレスな退院ができる支援システムの構築、地域で活動する医療・介護・行政等による情報交換を中心に医療・介護情報の収集と発信の活動をしていこうとしています。

月1回当院で連絡会という形で集まり、テーマを決め担当者から現状報告を行った後グループ討議、意見

発表し、情報の共有を図り、問題点を抽出、今後の連携に反映できるよう参加者間で意見交換を行っています。

まだまだ始めたばかりで手探りで運営していますが、少しずつ地域の介護関連の方を中心に毎回参加してくださる登録者数が増えてきており、この活動にご賛同頂いているものと思います。



平成26年度診療報酬改定の基本方針のなかで、入院医療・外来医療を含めた医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等に取り組む必要を言われていますが、“病院完結”ではなく“地域完結”の医療に向かわなければなりません。そのなかで医療・介護従事者間の顔の見える関係づくりは必須であり、この「まいづる連携」の果たす役割は大きいと考えています。

当院の患者様はもとより地域住民の皆様が井原に住んでいてよかったと安心して生活できる一助になる活動となればと思っています。

皆様のご理解とご協力をよろしく申し上げます。

これまで4回開催し、その活動内容をご紹介します。

	開催日	テーマ
第1回	6月16日	当院の新規事業「訪問リハビリテーション」、「短期入院」の紹介。 参加者数：63名（うち院内15名）
第2回	7月14日	退院時のリハビリテーションの情報（経過報告）をケアプランに反映するためにどのように取り組んだらよいか、グループワーク形式で意見交換を実施。 参加者数：56名（うち院内13名）
第3回	8月18日	退院支援について、シームレスな連携をとるために、当院への要望、支援のあり方についての提言をグループワーク形式で意見交換を実施。 参加者数：63名（うち院内20名）
第4回	9月16日	「健康医療課の紹介と在宅医療・介護連携について」 連携シート『むすびの和（井原版）』の運用について、活用状況と方法について意見交換し、今後の運用に繋げるように意見をまとめた。 参加者数：70名（うち院内8名）

## 「まいづる連携」発足によせて

井原市健康福祉部介護保険課長補佐  
地域包括支援センター係長

沖津 幸弘

先般「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」が可決されました。これは、平成37年には団塊の世代が75歳以上になり3人に1人が65歳以上の高齢者となり現在の医療・介護サービスの提供体制では、十分対応できないと見込まれることから、今から対策を立て備えるというものです。

井原市におきましては、すでに高齢化率が32.9%（平成26年3月末現在）とすでに高齢化率では国の推計する10年後の高齢化率に達しています。

このようななか、地域包括支援センターは、高齢者が住み慣れたまちで、いつまでも元気で暮らせるよう、介護予防することを目的に、その人にあった介護予防教室を各種開催するとともに高齢者の権利を擁護するため相談を受けております。

相談は、多岐にわたるため、普段から関係部署の連携の大切さを感じていましたところ、市民病院より現在の「まいづる連携」の原型となる「関係者の顔の見える関係づくり」を進める案をいただきました。

まずは、市民病院地域医療連携室と地域包括支援セ

ンターで定期的に困難事例の検討会を開催することにしました。

検討会では、目標としている方向性は同じでも解決のための考え方など乖離している部分があることが分かり、当初は、負担に思うこともありましたが、会を重ねるうち、お互いの考え方を理解し、大幅に時間を短縮してケース検討できるようになりました。

ここまで達するのに、時間はかかりましたが、「顔の見える関係づくり」の大切さを十分認識することができました。

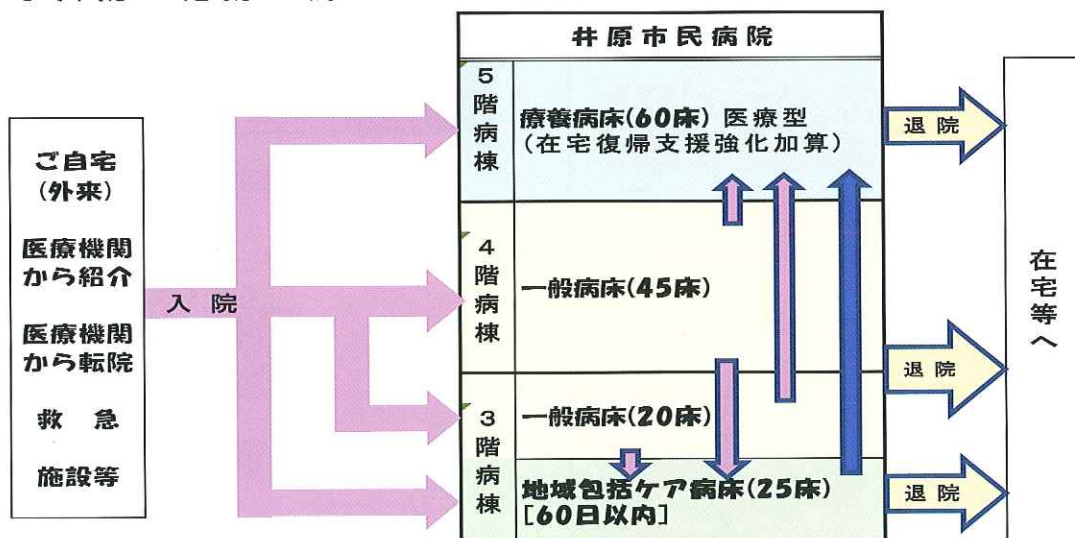
平成26年になり、健康医療課・福祉課も加わり、いよいよ「まいづる連携」にステップアップすることとなり、介護と医療をつなぐ重要な役割の介護支援専門員との「顔の見える関係づくり」を開催することとなり、毎回テーマを決めて討論を重ねております。

「まいづる連携」は始めたばかりであり、また、市民病院を主体とした限られた空間で展開しているためテーマ等に限りがあるなど、課題はありますが、これを契機に地域包括ケアシステムの構築の一環として、広く展開できるよう努めていきたいと考えております。

## 地域医療連携室より

平成26年5月1日から地域包括ケア病床（25床）、医療療養型病棟での在宅復帰機能強化加算を届出しております。また、療養病棟では短期入院（ショートステイ）の相談に応じております。

### ○ 入院～退院の流れ



※病状により該当病床に入院のご案内

当院では、平成26年7月1日から病院内に介護保険を利用した短時間通所リハビリテーションを開始しました。

医療保険でのリハビリテーションは日数の上限が設定されており、現状として上限日数を超えた場合（維持期リハビリテーション）であっても、医師の診断により月に13単位以内であれば継続が可能となっています。前回（平成24年4月）の診療報酬改定では、要介護被保険者等に対する維持期リハビリテーション（脳血管疾患等、運動器リハビリ）については、平成25年度末までとされていました。井原市内で通所リハビリを行っている機関は多くなく、当院に通院されている患者さんがこのままりハビリテーションができなくなることはないよう平成26年4月スタートに向けて条例改正などの準備を進めてきましたが、今回（平成26年4月）の診療報酬改定で、平成27年度末までに限り再延長されることとなりました。維持期リハビリテーションについては介護保険への移行促進が明確に示されたことから、当院にかかられている患者さんが医療保険から介護保険へ円滑に移行できるように体制を整えることにより、将来的にも継続したリハビリテーションの提供が行えるよう、再度準備を進めました。

準備にあたっては、津山第一病院様に施設見学をさせていただきます。通所リハビリテーションの運営

方法・ノウハウ、届出等、多くのことをご教授いただき、参考とさせていただきます。この紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

当院の開設した通所リハビリテーションは1時間以上2時間未満の短時間通所リハビリテーションです。特徴はリハビリテーションに特化した内容となっています。医療保険で行っていた外来リハビリテーションに自主トレーニングと趣味活動などを加えた内容を提供しています。短時間のため、食事や入浴等のサービスはありませんが、一方、比較的介護度の低い方にも利用しやすくなっています。

なお、当院に外来通院されている方でご希望があった場合には随時、通所リハビリテーションへの移行を行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。次の内容を提供しております。

### 【短時間通所リハビリテーションの内容】

- ◎1時間以上2時間未満のリハビリテーションを提供します。
- ◎1グループの定員は12名です。
- ◎初めに健康チェックを行い、専従の理学療法士、または作業療法士による個別リハビリテーションと自主トレーニングを行います。終わればお茶をいただきながら休息して帰宅となります。
- ◎希望者には専用車にて送迎を行っています。



## 通所リハビリテーション をご希望される方へ

当院では短時間通所リハビリテーションを開始いたします。  
短時間通所リハビリテーション（1時間～2時間程度）の特徴は、  
個別リハと自主トレを組み合わせで行います。

対象

介護認定を受けられている方です（介護保険を利用します）  
要支援1・2 および要介護1・2・3・4・5の方  
※ 詳しい利用条件などについてはお問い合わせください

日時

月曜日～金曜日の平日  
8:45～10:15（うち個別リハビリ20分）  
10:30～12:00（うち個別リハビリ20分）  
※ 土日祝日および年末年始は休ませさせていただきます

ご利用までの流れ

ご相談から、お申込み、ご利用開始まで  
担当ケアマネージャーにご相談

ご利用申し込み

利用判定（診察）

説明・契約など

サービス担当者会議など

ご利用開始

ご利用当日の流れ

ご来院から、リハビリ、ご帰宅まで  
ご来院

体調チェック（血圧など）

医師の診察（必要に応じ）

個別リハビリ（約20分）

自主トレーニングなど

ご帰宅



お気軽にご相談ください。



## 地域医療実習を終えて



岡山大学医学部 6 年生 戎谷 信彦

今回、井原市民病院で平成 26 年 7 月 7 日から 7 月 11 日まで 1 週間実習させていただきました。これまで地域医療というものを体験することが初めてのことで、実際に体験させていただくことによって地域の中核病院でありながら稼働している病床数が 140 床程度であり、働いている医師も常勤は 11 人で 40 歳代以上の先生しかいらっしゃらない現状、人口 10 万人当たりの常勤換算医師数も全国平均 250 人や岡山県南東部 340 人に対し、井原市では 150 人ということなどはじめて知りました。また、地域医療ならではの訪問看護や訪問リハビリテーションに同行させていただき、頻繁には病院に通院するのが難しい人のためにどのようなサポートをしているかということを実際に見させていただき、大変勉強になりました。また、井原市民病院における地域連携の仕組みなど今まで考えたこともないことも教えていただき、興味を持ってたということも今回良い経験になったと思います。1 週間お世話になりました先生方、ならびに看護師や事務の方々、ありがとうございました。



岡山大学医学部 4 年生 西垣内 陽

平成 26 年 7 月 28 日から 8 月 1 日までの 5 日間、井原市民病院で実習をさせていただきました。様々な診療科の見学、カンファレンス、訪問看護など学校の授業では経験できないたくさんの貴重な体験をさせてもらいました。以前は地域医療に対して漠然としたイメージしかなく、実際の現場はどのようなものなのか、何が求められているのかということが全く分かりませんでした。今回の実習を通して地域医療が必要とされている多職種の医療従事者が協力して行うチーム医療とは具体的にどのようなものであるかがよくわかりました。

井原市民病院での実習は自分の医療に対する意識を大きく変えてくれるものであり、これからの学習への良い刺激となりました。

最後になりましたが、院長の山田先生をはじめといたくさんのスタッフの皆様、実習に協力して下さった来院者の皆様大変ありがとうございました。



岡山大学医学部 3 年生 中村 悠大

この度、地域医療実習で平成 26 年 7 月 28 日から 8 月 1 日まで一週間、井原市民病院のスタッフの方々、ならびに井原市地域住民の皆様には大変お世話になりました。今回の実習の中で本当にたくさんのことを体験することができ、多くのことを感じ取ることが出来ました。3 年生ということでまだまだ医学・医療の知識が少ない私たちに対して、スタッフの皆さんは丁寧に説明して下さり、お忙しい中様々な体験をさせて下さいました。また、地域の住民の皆様、患者さんの方々も学生にも関わらず実習に協力して下さい、日頃の大学での学習では決して出来ないような貴重な経験が出来ました。

井原市民病院では、チーム医療の体制が徹底されており、医師、看護師だけでなく薬剤師や栄養士までもが協力し合って患者さんに対して最前の医療が出来るよう取り組んでおられて非常に印象的でした。

この実習で感じたこと、学んだことを忘れることなくしっかりといかしていきながら、地域での医療が担えるような医師になれたらと強く感じました。一週間という短い期間ではありましたが本当にありがとうございました。



岡山大学医学部 1 年 槇山 誠人

この度、平成 26 年 9 月 8 日から 5 日間地域医療実習として受け入れてくださり、本当にありがとうございました。大学に入学して間もない 1 年生である故、医学の知識が乏しい私にも学習、体験、理解できるスケジュールを組んでいただきとても感謝しています。また、ご迷惑をおかけしたことも多々あったと思われます。病院の先生方やスタッフが丁寧に指導して下さったこともあり、充実とした 1 週間となりました。

実習内容は 1 年生での初めての病院実習だったので、見るものすべてが新鮮でした。ほとんどの診療科を見学するだけでなく、訪問看護や訪問リハに同行させていただきました。訪問先では患者さんとの信頼関係が築いてあり、患者さんの優しさや親しさを感じることができました。エコーの使用や、聴診器で患者さんの胸やお腹の音を聞かせていただいたことはとても貴重な経験となりました。様々な委員会、会議にも参加させていただき、今まで知らなかったことを多く学びました。今回の実習の中で、井原市民病院では地域の中核病院として地域の患者さんにどのような医療を提供しているかを理解することができたと思います。また、救急車で福山市市民病院まで同乗させていただいた時にも感じましたが、他の病院との連携の強さを感じることができました。

この 1 週間で多くのことを学ばせていただきました。これから医学を学んでいく過程で今回学ばせていただいたことを大きく役立てていきたいです。病院の先生方やスタッフの方々にはとても感謝しています。本当にありがとうございました。

## 第16回日本医療マネジメント学会学術総会に参加して

第16回日本医療マネジメント学会学術総会が、6月13日(金)、14日(土)の2日間にわたり、『楽しく働くためにはどうすれば良いか』をテーマに、岡山市の岡山コンベンションセンターをメイン会場として開催されました。当院からは一般講演(ポスター)に3題の発表を行いましたのでご報告します。

発表演題	発表者
NST活動の継続を目指した栄養連携 ～地域一体型NSTの構築	地域医療連携室長 副看護部長 渡邊 栄子
訪問リハの効果の検証及び併用サービスとの関連 ～要介護度変化に着目して～	リハビリテーション科 作業療法士 佐藤 美好
当院における新しい取り組み ～呼吸リハビリテーションの立ち上げから実践まで～	リハビリテーション科 理学療法士 藤原ワージントン 起久子

### リハビリテーション科作業療法士

佐藤 美好

6月13日・14日、日本医療マネジメント学会学術総会に参加させていただきました。全国から約4000人の医療従事者が集まり、発表演題は1000以上、また多数のシンポジウムや教育講演、ランチョンセミナーや医療機器の展示等もあり、非常に活気がありました。

講演のなかで最も印象に残ったのは、学会長の青山興司先生の、「医療の基本は、お母さんと赤ちゃんの間の無条件の愛情と信頼」という言葉でした。先生の話を聞いて、改めて人間関係の基本である信頼と、私たちは患者様から学ばせていただいているということをお忘れないようにしたいと感じました。

また今回、私は昨年・一昨年と訪問リハビリに就事した経験を元に、「訪問リハの効果の検証および併用サービスとの関連」という演題で、発表をさせていただきました。発表後は、他病院の方と質疑応答や意見交換を行い、反省と共に研究を深めることができました。過去にリハビリ職種を中心とした学会への参加をしたことはありましたが、Drや看護師等、さまざまな職種が多数参加する学会は初めてであったので、違った視点から意見もいただき、そうしたなかでの発表は大変貴重な経験となりました。

今回の経験を生かし、今後自己研鑽に励み、地域の皆様により良いリハビリテーションを提供できるよう努力していききたいと思います。



### リハビリテーション科理学療法士

藤原ワージントン 起久子



この度、日本医療マネジメント学会学術総会に参加し、当院における新しい取り組みとして呼吸リハビリテーションチームの立ち上げ～実践について発表する機会をいただきました。本学会のメインテーマは「楽しく働くためにー医療の進むべき姿を求めてー」でした。

今回私が発表させていただいた呼吸リハビリテーションチームの立ち上げや活動において、医師をはじめ、看護師や薬剤師、検査技師など多くの職種と連携を図り、同じ目標に向かって医療を提供するチーム医療が重要となります。そうしたなかで、理学療法士としての知識と、チームの共通した知識を学ぶことが出来、喜びを感じることも多くありました。また、本学会には全国から様々な職種の医療従事者が参加されており、発表内容に対し多くの職種の方から質問や意見を頂き、いろいろな視点からひとつの事象を見ることができたと思います。

現在、当院チームでの活動として、チーム内で学んだ知識や技術を近隣施設・医療機関へ伝達するために定期的にオープンカンファレンスを開催し、地域住民への啓発として月に1回健康教室を開催していますが、その反面、院内職員に対し、活動内容の周知や作成資料の共有が不足しており、知識・技術の伝達を図ることも重要であり、今後の課題の1つとなっています。

今回、学会に参加させて頂き得た情報を今後の活動に活かし、チームの一員として一層努力していききたいと思います。

## 行事食

## お月見デザート

9月8日は、中秋の名月でした。お月見饅頭とメッセージカードをお食事に添え、患者様に季節感を味わっていただいております。

### お月見饅頭



### お月見団子ゼリー

咀嚼・嚥下が困難な患者様にも、お月見を楽しんでいただけるように、お団子にみたてたゼリーを作りました。(粥をペースト状にしたものに、きな粉、黒ごまを混ぜ、やわらかいゼリーにしています)



## 地産地消の取り組み

当院では、地産地消の取り組みをおこなっています。井原市は温和な気候に恵まれ、「ぶどう」「明治ごぼう(ごぼう)」「美星の乳製品・豚肉加工品」などの特産品があります。

今回は、明治のごぼうを使って、『きんぴらごぼう』を作りました。ごぼうが食べにくい患者様にも『きんぴらごぼうゼリー』にして味わっていただくよう工夫しております。明治ごぼうはやわらかくて風味満点です。

### きんぴらごぼう



分量 (4人前)	
ごぼう	160g
にんじん	40g
糸こんにゃく	80g
サラダ油	適量
砂糖	小さじ3
しょうゆ	大さじ1
白ごま	適量

### きんぴらごぼうゼリー

ごぼうと人参をそれぞれ煮て、ペースト状にしたものをやわらかいゼリーにし、細くきり盛り付けています。



## まいづる保育園だより

### 「夏祭り」



7月28日(月)に夏祭りを行いました。園庭がないため、室内でのイベントですが、たくさんの保護者の方にもご参加いただきました。

魚つりや的当てなどのコーナー遊び、かき氷などの食べ物コーナーと露店数は少ないですが、子供たちはとても喜んでくれ、お父さんやお母さんと一緒に楽しく回っていました。

そしてお祭りの最後には盆踊りを踊り、日頃の練習の成果を保護者の方に見ていただきました。練習のときのように堂々と踊る子、恥ずかしくてなかなか踊れない子と様々でしたが、次の日の連絡帳には「おうちに帰ってお土産でもらったもので遊んでいました。」「盆踊りを踊って見せてくれました。」と嬉しい感想をいただきました。

このように毎月1回、保護者の方にもご参加いただき、親子でイベントを楽しんでいます。

### 「水遊び」

7月中旬～8月末まで保育園横のスペースで水遊びを行っています。毎日ではありませんが、その日の天候や子供たちの体調を見ながら行い、水遊び以外にも室内で沐浴をしています。

子供たちは水遊びが大好きで、保育士同士で話をしていると「やったー！今日は水遊びだー。」と大喜びです。外に出るとみんな嬉しそうにプールに入り、ジョーロやカップに水を入れて遊んだり、友達同士で水のかけあいっこをしたりとほとんどの子が頭や顔に水がかかっても平気ですが、中にはなかなか水に慣れず涙が出てしまう子もいます。

今年の水遊びは終わりましたが、子供たちは来年また遊べるのを楽しみにしています。



第4回

# 健康まつり

## 11月16日



会場 井原市民病院

時間 10時～14時

(雨天決行)

井原市 マスコットキャラクター  
でんちゅうくんも待ってるよ♪



### 専門スタッフによる 体験コーナー

- \*薬剤師と一緒に軟膏づくり体験
- \*お菓子を薬の分包機で分けてみよう
- \*箱の中身はなんじゃろかあ？  
★レントゲンで見よう！
- \*血圧脈波測定（動脈硬化検査）  
★推定血管年齢がわかります！

- \*光るバイキン見てみよう！
- \*転倒予防教室  
★転倒リスクチェック
- \*1日の野菜足りてますか？  
★野菜を量って調べてみよう



### 特別公演

## パンフルート演奏会

開演 10:05



【演奏者】備前の風  
今井 勉

ギリシャ神話に名前の由来を持つとされ世界最古の楽器といわれる『パンフルート』。その独特な音色は神秘性と癒しの力を持っていると言われます。その演奏と歌声を楽しいおしゃべりと共に是非お楽しみください。

### 風船つりやバルーンアートもやってるよ



### ナースやドクターに变身♪



思い出に写真を持って帰ってね

バザー・屋台・ゲームなど楽しいイベントが盛りだくさん♪是非お越しください

※イベント内容につきましては、変更の場合もあります。

### 看護師募集

当院では平成27年4月1日採用予定の看護師（免許取得の方若しくは来週取得見込みの方）を募集しております。（随時受付）

また、パート勤務を希望の方もご相談に応じております。

詳しくは当院のホームページをご覧ください。庶務課までお問合せください。

TEL0866-62-1133 (代)